

別記様式第 6 号（別記 1 第 11 関係）

農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうち
国際認証取得拡大緊急支援事業（有機 J A S 認証等取得等支援事業）
に関する事業評価票

都道府県名 市町村名		北海道常呂郡置戸町
事業実施主体名		有限会社丸富青果
事業の概要		【GAP 認証取得等支援】 本事業実施主体は 2009 年にグローバル GAP 認証を取得。 現在、生協や量販店との取引はあるものの、消費者の認知度が低いことなどを背景に、実需者からの GAP 認証農産物の需要は一部にとどまっている。その結果として、GAP 認証農産物の生産は小ロットに限られ、海外取引を行うことが困難な状況である。 本事業を活用し、GAP 認証農産物の生産を拡大することにより、海外への輸出が可能な体制の構築をする。
成果目標の 具体的内容		○ GAP 認証農産物を輸出すること。 （品目：玉葱 輸出先：台湾）
成果 目標 の 達成 状況	基準年度 （平成 28 年度）	0 kg
	目標年度 （平成 31 年度）	23,800 kg
	目標値	46,000 kg
	達成率	達成率：51.7%
農林水産省 生産局長 の意見		目標年度までに GAP 認証農産物の輸出できたが、成果目標は未達成である。 成果目標が達成されるよう、改善計画の提出を求める。

別記様式第 6 号（別記 1 第 11 関係）

農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうち
国際認証取得拡大緊急支援事業（有機 J A S 認証等取得等支援事業）
に関する事業評価票

都道府県名 市町村名		栃木県宇都宮市および佐野市
事業実施主体名		日本産高級果実の超高品質世界展開技術開発プラットフォーム
事業の概要		【GAP 認証取得等支援】 EU 圏での日本産イチゴ市場の開拓を目標に、栃木県内のイチゴ生産者が GLOBALG.A.P.認証を取得し、EU 圏で日本食レストランを展開している企業へのイチゴ輸出を事業化する。日本食レストランとして、特にイギリス(ロンドン店)とフランス(パリ店)へのサンプル提供から始まり、これらの店舗を拠点として両市内にある日本食レストラン等への供給を目標に、定期的に日本産イチゴを輸出する事業に発展させる。本事業を活用し、GAP 認証農産物の生産を拡大することにより、海外への輸出が可能な体制の構築をする。
成果目標の 具体的内容		○ GAP 認証農産物を輸出すること。 (品目：いちご 輸出先：イギリス、フランス)
成果 目標 の 達成 状況	基準年度 (平成 28 年度)	0 kg
	目標年度 (令和 31 年度)	60 kg
	目標値	150 kg
	達成率	達成率：40%
農林水産省 生産局長 の意見		目標年度までに GAP 認証農産物の輸出を実現できたものの、成果目標は達成されていない。 引き続き、商談等の取組により、目標値が達成されるよう改善計画の提出を求める。

別記様式第 6 号（別記 1 第 11 関係）

農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうち
国際認証取得拡大緊急支援事業（有機 J A S 認証等取得等支援事業）
に関する事業評価票

都道府県名 市町村名		東京都品川区
事業実施主体名		株式会社日本農業
事業の概要		【GAP 認証取得等支援】 東南アジアへのりんご輸出を成長させるために、生産・物流・販売において日本側でイニシアチブを取りながら輸出用バリューチェーンを構築するとともに、日本の青果物のグローバル GAP の取得を通じて食の安全を確保し、海外マーケット輸出への確かな土台を形成する。
成果目標の 具体的内容		○ GAP 認証農産物を輸出すること。 （品目：りんご 輸出先：インドネシア）
成果 目標 の 達成 状況	基準年度 （平成 28 年度）	0 kg
	目標年度 （令和元年度）	139.9 t
	目標値	1,000 t
	達成率	達成率：14%
農林水産省 生産局長 の意見		目標年度までに GAP 認証農産物の輸出を実現できたものの、成果目標は達成されていない。 引き続き、商談等の取組により、目標値が達成されるよう改善計画の提出を求める。

別記様式第 6 号（別記 1 第 11 関係）

農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうち
国際認証取得拡大緊急支援事業（有機 J A S 認証等取得等支援事業）
に関する事業評価票

都道府県名 市町村名		新潟県佐渡市
事業実施主体名		株式会社佐渡相田ライスファーマーミング
事業の概要		【GAP 認証取得等支援】 約 17 ヘクタールの耕作面積の中で、これ以上の規模拡大は施設人員機械規模を含め経営を逆に圧迫するため、国内流通だけでなく海外流通を視野に入れた取組が更に必要になった。 このため、本事業を活用し、グローバルギャップ認証を取得し、農産物の輸出拡大に取り組む。
成果目標の 具体的内容		○ 令和元年度までに GAP 認証農産物の輸出数量を平成 28 年度と比して 105%以上とすること。 （品目：米 輸出先：フランス、香港）
成果 目標 の 達成 状況	基準年度 （平成 28 年度）	3, 224 kg
	目標年度 （平成 31 年度）	949 kg
	目標値	3, 400 kg
	達成率	達成率：-1293%
農林水産省 生産局長 の意見		成果目標が達成されていないことから、改善計画の提出を求める。

**農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうち
国際認証取得拡大緊急支援事業（有機 J A S 認証等取得等支援事業）
に関する事業評価票**

都道府県名 市町村名		福井県福井市
事業実施主体名		株式会社アジチファーム
事業の概要		【GAP 認証取得等支援】 米を中心とした農業生産と直売所/食堂を運営する農業法人であり、メガファームとして大規模農業経営に取り組み、6 次産業化を実践している。今後、国内市場規模が縮小される中で、海外市場への米の輸出に向けた取り組みが課題。その中で、海外市場への米の輸出に向けた取組のための G-GAP の取得を行い、輸出のための販路開拓を実施し、海外市場への輸出拡大による課題克服を図っていくことを目的とする。
成果目標の 具体的内容		○ GAP 認証農産物を輸出すること。 （品目：米 輸出先：台湾、ベトナム）
成果 目標 の 達成 状況	基準年度 （平成 28 年度）	0 kg
	目標年度 （平成 31 年度）	1, 050 kg
	目標値	20, 000 kg
	達成率	達成率：5 %
農林水産省 生産局長 の意見		目標年度までに GAP 認証農産物の輸出を実現できたものの、成果目標は達成されていない。 引き続き、商談等の取組により、目標値が達成されるよう改善計画の提出を求める。

別記様式第 6 号（別記 1 第 11 関係）

農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうち
国際認証取得拡大緊急支援事業（有機 J A S 認証等取得等支援事業）
に関する事業評価票

都道府県名 市町村名		大阪府大阪市
事業実施主体名		株式会社 TK ファーム
事業の概要		【GAP 認証取得等支援】 輸出実績のあるグループ会社の輸出拡大のため、海外のニーズに応えられるような農産物の確保と信頼性を担保する要望に応じる（GLOBALG. A. P. 取得）ことを推進する目的で、まずはグループの子会社のファーム事業において GLOBALG. A. P. を取得し、海外ニーズに応えられる農産物の輸出実績をあげる。
成果目標の 具体的内容		○ GAP 認証農産物を輸出すること。 （品目：キャベツ、ニンジン 輸出先：香港）
成果 目標 の 達成 状況	基準年度 （平成 28 年度）	0 kg
	目標年度 （令和元年度）	300 kg
	目標値	10,000 kg
	達成率	達成率： 3 %
農林水産省 生産局長 の意見		目標年度までに GAP 認証農産物の輸出を実現できたものの、成果目標は達成されていない。 引き続き、商談等の取組により、目標値が達成されるよう改善計画の提出を求める。

別記様式第 6 号（別記 1 第 11 関係）

農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうち
国際認証取得拡大緊急支援事業（有機 J A S 認証等取得等支援事業）
に関する事業評価票

都道府県名 市町村名		兵庫県佐用郡佐用町
事業実施主体名		東徳久区農事組合法人
事業の概要		【GAP 認証取得等支援】 輸出の増加による所得向上・GAP 取得による従業員が働きやすい職場作りで、若い担い手を育成し、地域の活性化に貢献する。
成果目標の 具体的内容		○ GAP 認証農産物を輸出すること。 （品目：キャベツ、白菜 輸出先：香港）
成果 目標 の 達成 状況	基準年度 （平成 28 年度）	0 kg
	目標年度 （令和元年度）	0 kg
	目標値	20 t
	達成率	達成率：0%
農林水産省 生産局長 の意見		GAP 認証取得に向けて、コンサルタント受講等の取組を行ったものの、審査会社との調整が難航し、事業実施期間内に事業を完了することができなかったため、全額自己負担で事業を継続している。 成果目標は未達成であるものの、事業費を全額自己負担していることから、改善計画の提出を求めず、評価を終了とする。

別記様式第 6 号（別記 1 第 11 関係）

農林水産物・食品輸出促進緊急対策事業のうち
国際認証取得拡大緊急支援事業（有機 J A S 認証等取得等支援事業）
に関する事業評価票

都道府県名 市町村名		鹿児島県鹿児島市
事業実施主体名		有限会社ビオ・ファーム
事業の概要		【GAP 認証取得等支援】 当該事業実施主体は事業実施前から KGAP（鹿児島県独自の GAP）を取得し、煎茶の輸出実績を有している。 新たに輸出に取り組む碾茶は、食品原料として用いられることから、販売先からは食品としての安全性を重要視される。また、海外でさらに販路を拡大するには国際水準 GAP の認証取得が必要となる。 このため、GLOBALG. A. P. を取得し、輸出に向けた商談において、碾茶の食品としての安全性をアピールすることにより輸出の拡大を図る。
成果目標の 具体的内容		○GAP 認証農産物を輸出すること。 茶の輸出量を平成 28 年度と比して 105%以上とすること
成果 目標 の 達成 状況	基準年度 (平成 28 年度)	18,308 kg
	目標年度 (平成 31 年度)	22,010 kg
	目標値	19,224 kg
	達成率	229%
農林水産省 生産局長 の意見		成果目標を達成している。